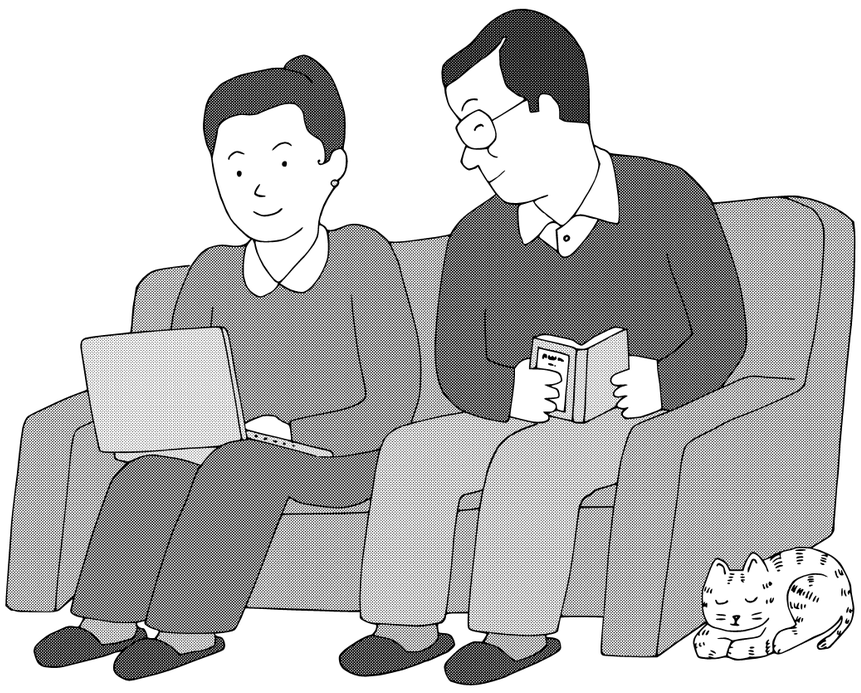
人生は長い。だからこそ考えたいのは
健康寿命。
「健やかに」「いきいき」と過ごしたいものです。
元気に過ごす人生の期間を「健康寿命」といいます。
日本新薬は、一人ひとりの命のために、健康寿命が延びる、
そんな未来のために、新しい薬を創っています。



健康未来、創ります
日本新薬
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.
http://www.nippon-shinyaku.co.jp

「はたらき」を化学する

人と地球の未来に役立つ、夢あふれる化学品を生み出したい。
もっと快適に、もっと地球にやさしく・・・
その想いを胸に「はたらきの化学品（パフォーマンス・ケミカルス）」を開発し続けています。
今より、もっと素敵な明日をみつめて、チャレンジを続けます。

本社／〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
http://www.sanyo-chemical.co.jp/
「はたらき」を化学する
三洋化成工業株式会社

京都企業の挑戦

成長市場にモノづくりで応える

景気好循環実現の経済対策に熱視線

京都の経営者

政府は2013年、「日本再興戦略」をとりまとめ、戦略を確実に実行に移すために、「産業競争力強化法」を成立させた。各種措置を講じるほか、新たな経済対策として5・5兆円規模の補正予算を閣議決定しており、好循環実現のための経済対策として注目されている。各地で開かれた説明会には多くの企業経営者が訪れた。

京都銀行は2月下旬に本店で説明会を開催。さまざまな施策が近畿経済産業局の担当者から紹介され、出席した140人以上の経営者は期待を持って聞き入った。

そのひとつが「ものづくり・商業・サービス革新補助金」。試作品や新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービスや販売方法の導入など事業革新に取り組む費用を補助する。補助上限は1000万円、医療やエネルギーなど特定分野への投資は1500万円だ。また、「生産性向上設備投資促進税制」は先端設備、生産ラインやオペレーションの改善に資する設備を導入すると、即時償却や5%の税額控除が受けられる。「創業促進補助金」は新たな需要を創造する新商品・サービスを提供する創業に対して、店舗借入費や設備費などの一部を補助する。支援制度の概要、従来との変更点など説明の後では、自社ケースについて相談を申し込んでいた。

京都高度技術研究所
ACT京都開設

化学に特化した研究推進

京都高度技術研究所は化学分野に特化した研究開発を推進する施設「京都市成長産業創造センター（ACT京都）」を開設した。京都大学をはじめ、京都地域に集積する大学、研究機関、企業が連携。同施設で化学分野における最先端の大学の技術シーズを事業化に結びつけるのが狙いだ。

ACT京都は再開発が進む京都市南部に立地。総事業費は約25億円で、経済産業省の「先端技術実証・評価設備整備費等補助金（技術の橋渡し拠点施設等整備事業）」の採択を受けたほか、京都市の補助金を利用した。

京都市成長産業創造センター（ACT京都）

共同研究を行うラボスペース31室やレンタルオフィスなどを用意。空調システムや排水処理システムなど、化学領域の研究開発に適した設備を備える。現在、京大や京都工芸繊維大学のほか、ロームが主導する燃料電池開発など、10個の研究テーマに取り組んでいる。

市場無限に広がる

新エネ、エレクトロニクス分野など

これからの成長分野は「4K」だという調査がある。「環境」「健康」「観光」「小売り」の頭文字をとって「4K」と呼ぶ。環境にメガソーラーなど新エネルギー関連などが含まれるなど、限りなく市場は眼前に広がっている。

フロンティア開拓へ

成長市場は企業によってさまざまだ。京都企業が新製品やサービスで取り組む成長市場には、これからのビジネスの浮沈につながる大きなヒントが隠されている。

メガソーラーなど新エネルギー関連、スマートフォンなど高機能携帯端末などを成長市場と見る向きは健在だ。不二電機工業はいち早く1000ボルト対応の機器でメガソーラー需要をつかむ。内外特殊エンジはボイラの省エネ機器が好調。太陽光と蓄電池を組み合わせた風力発電にも力を入れている。星和電機は「工場丸ごとLED化」を掲げ、工場の省エネルギーや安全性などに向けてLED照明事業を強化している。片岡製作所は精密レーザー加工装置でタッチパネルや電子部品の精密加工需要を開拓している。

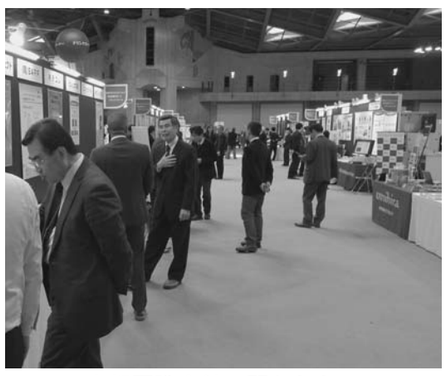
コフロックは液体用コントローラーで、食品や医薬などの流体制御需要を狙う。トクデンは過熱蒸気発生装置で医薬や食品業界の殺菌需要を取り込む考えだ。イシダは食の安全・安心の分野にも注力。食中毒対策に電解次亜水生成機を製品化した。

医療関連分野では三洋化成工業は高吸水性樹脂（SAP）や自動車用潤滑油添加剤のグローバル展開を加速。第一工業製薬はセルロースナノファイバーを利用した増粘剤「レオクリスタ」を事業化。KTCは産業用や医療用など、トルクレンチで自動車整備以外の市場でも実績が上がってきた。日本新薬は次世代医薬品である核酸医薬で臨床試験に入るなど業界をリードする。

そのほか太陽精機は多品種小ロットのオンデマンド製本機で世界トップ。デジタル出版で存在感を示している。宝酒造は発泡性清酒「澪」で、これまで清酒に関心の低かった層を抜本開拓する。

再生医療関連でも技術力

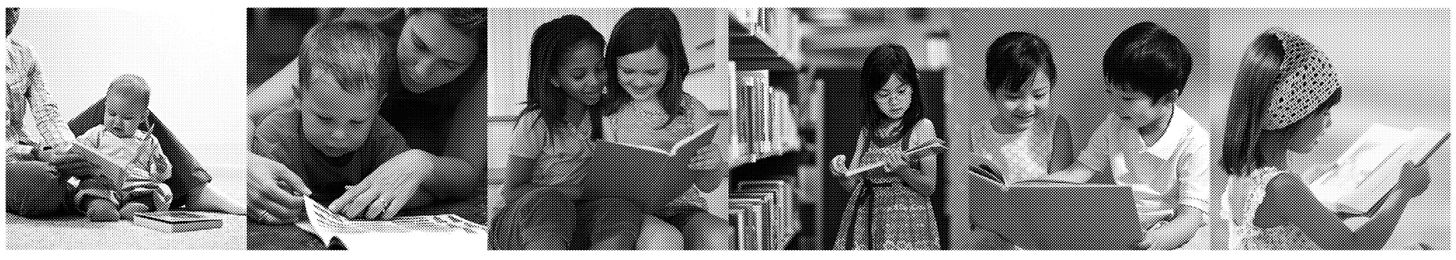
iPS細胞（人工多能性幹細胞）など再生医療への期待が高まる中、京都企業でも同分野への取り組みが加速している。4―5日に京都国際会館（京都市左京区）で開催された日本再生医療学会の付設展示会には100社以上の企業や団体が参加。パナソニックやキーエンスといった国内外の大手メーカーとともに、京都の企業も数多く出展し、技術力をアピールした。



京都国際会館で開かれた日本再生医療学会（4日）

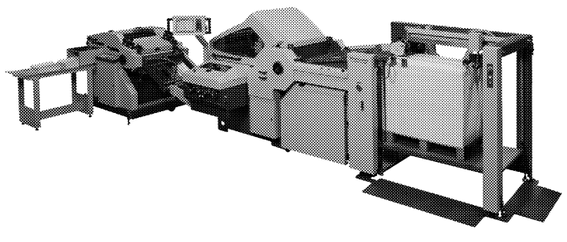
その中核を占めたのが京都で活動する再生医療プラットフォームのメンバー企業だ。微細加工を生かした医療機器や、画像処理技術を水平展開した測定装置など、各社とも自らの技術の強みを生かして新市場に参入。iPS細胞関連特許のライセンス事業を展開するiPSアカデミアジャパン（京都市上京区）では、中小企業との共同開発の成果も示した。

Horizon
www.horizon.co.jp
The World Loves Books.

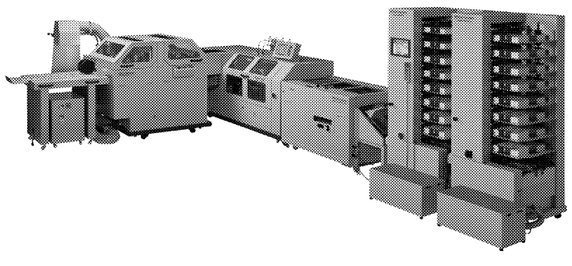


「綴じられた本」から伝わる温かみや価値は、大切に継承したい世界共通の文化です。
デジタル技術を最大限に活かした製本機械を通じて、「本」の持つ良さを大切に守っていきます。

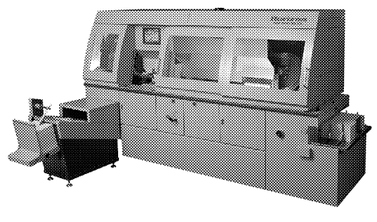
菊全判全自動紙折機＋パイル式プレススタッカー
AFC-746F+PSX-56
タッチパネルからの直感的な操作でローラギャップを含む全てのセットが自動で行えます。オプションのパイル式プレススタッカーPSX-56の接続で更に作業性が向上します。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
StitchLiner6000
「ペラ丁合機・筋入れ折り装置・鞍掛け中綴じ機・三方断裁機のシステム化」という新発想のシステム。時間6,000冊の処理速度で、中・小ロットの仕事から大ロットの仕事まで、高速かつ効率的に処理できます。



自動無線綴機4クランプタイプ
BQ-470
カラータッチパネルに製本内容を入力するだけで、全てのセットアップが自動で行われます。交換式メルトタンク機構で、用途に合わせてEVAとPURの切り替えが可能です。
PUR対応



開発・製造
太陽精機株式会社
www.taiyo-seiki.jp
［京都工場］
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL.075(921)9211(代)　FAX.075(934)8886
［びわこ工場］
〒520-1501　滋賀県高島市新旭町旭字城ノ下1600
TEL.0740(25)4567(代)　FAX.0740(25)8008

国内販売
株式会社ホリゾン西コンサル
［本社］
〒601-8206　京都市南区久世大薮町510
TEL.075(933)3060(代)　FAX.075(933)4025
［九州営業所］
〒813-0034　福岡市東区多の津4-12-17
TEL.092(626)8111(代)　FAX.092(626)8112
株式会社ホリゾン東テクノ
［本社］
〒132-8562　東京都江戸川区松江5-10-9
TEL.03(3652)7631(代)　FAX.03(3652)8083
［東北営業所］
〒984-0002　仙台市若林区卸町東1-7-31
TEL.022(782)2821(代)　FAX.022(782)3068